

昭和51年度第2回融合炉核データW.G.会合議事録

日時 昭和51年8月13日(金) 13時30分～17時30分

場所 原研東京本部第31会議室

出席者 伊尾木, 伊藤, 神田, 北沢, 村田, 関, 西村, 浅見, 更田, 田中

議事

(1) 前回議事録確認

(2) 融合炉核データ・コンパイルーション作成作業について

原研のW.G.メンバーが作業方法をアレンジし、NEUDADA含まれているデータからのプロット作業を行う。世活人は浅見氏。

その他のW.G.メンバーは第1回アウトプットが出た段階で不足データなどのプロットを行う。なおプロットのFORMATに対する意見を集めたところ、神田氏から具体的な意見があった。

(3) アナウンス(更田)

阪大から菰田氏が核融合研究の研究生として、原子核データ室に来ている期間は1年。

(4) ローウェル会議報告(田中, 北沢)

ローウェル会議について、手短かな印象などの報告があった。

(5) 評価作業進行情況の報告

西村氏から ^{19}F に関する評価作業の報告があった。結果は原子力学会で発表の予定である。

(6) 北沢氏による講演

配布資料に基づいて、まず (n, r) 断面積計算の説明が行われた。
complex coupling を用いて実験値とのよい一致が得られる。

次いで、 (n, p) 断面積の計算のために、Precompound modelを用いた計算の話が行われた。Griffin および Blann の式に基づいた計算方法とその結果に関する説明が行われた。

次回会合予定 11月頃, 東海で。